



2026年卒 理系学生の就職先企業（専攻分野別）

2025年8月

株式会社キャリアタス / キャリタスリサーチ

調査概要

2026年卒・理系学生の就職先企業について、4つの専攻分野（機械・電気系／情報系／土木・建築系／化学・農学・薬学系）、あるいは文系学生の就職先との比較などを通して、その特徴を分析した。
 巻末には、参考データとして、7月までの活動状況の振り返り等のデータを紹介する。

<目次>

- | | |
|--------------------------|-----|
| 1. 就職決定業界 | P 3 |
| 2. 就職決定職種、専攻分野との関連 | P 4 |
| 3. 就職決定企業への応募ルート、当初志望度 | P 5 |
| 4. 就職決定企業を知ったきっかけ | P 6 |
| 5. 就職決定企業で働きたいと思ったタイミング | P 7 |
| 6. 就職決定企業のインターンシップ等*参加状況 | P 8 |
| 7. 就職決定企業に決めた理由 | P 9 |
| 8. 初回内定時期 | P11 |
| 9. 就職先を決めて就職活動を終了した時期 | P12 |

【参考】

- | | |
|-------------------|-----|
| ・就職活動量 | P13 |
| ・本選考に応募した企業の内訳 | P14 |
| ・就職環境への考え | P15 |
| ・希望する初任給額（学部/修士別） | P16 |

*就業体験を含まない1日以内のプログラムも含めて調査

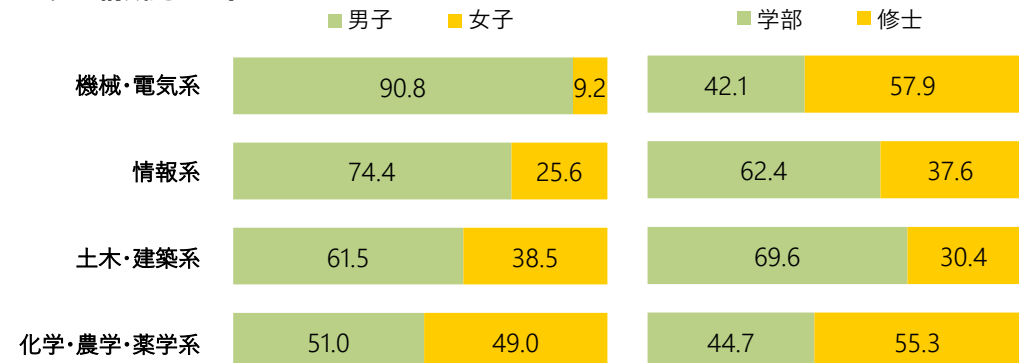
<調査概要>

調査対象 : 2026年3月に卒業予定の理系大学生・大学院生
 サンプル : キャリタス就活 学生モニター2026
 調査方法 : インターネット調査法

	第5回定期調査	第7回定期調査	第9回定期調査
調査時期	2025年3月	2025年5月	2025年7月
回答者数	1,105人	1,035人	1,073人
理系全体	392人	367人	390人
機械・電気系	79人	80人	89人
情報系	78人	78人	78人
土木・建築系	40人	39人	39人
化学・農学・薬学系	143人	124人	137人

※上記以外の専攻系統も「理系全体」に含まれる。そのため、4専攻系統の人数の合計は「理系全体」と一致しない。

(モニター構成比：%)



1. 就職決定業界(上位業界)

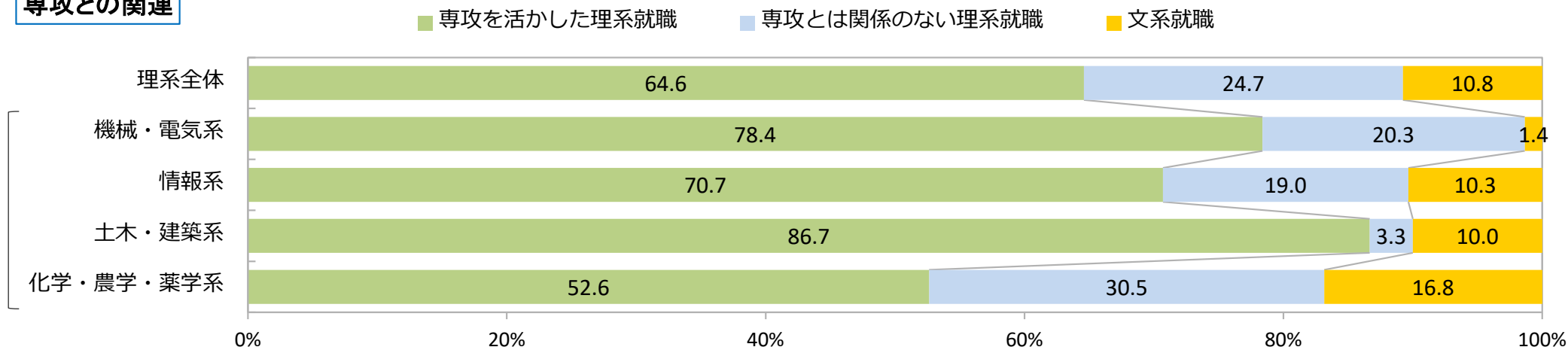
- 機械・電気系学生は、1位「電子・電機」「自動車・輸送用機器」（ともに24.3％）、3位「機械」（12.2％）と続き、メーカーを中心に幅広く分布。
- 土木・建築系学生は「建設・住宅・不動産」（69.7％）に集中。情報系学生は「情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト」（33.9％）が最多。
- 「情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト」は他の専攻分野でも上位業界に入り、理系全体の1位になっている。

(%)												
理 系			機械・電気系		情報系		土木・建築系		化学・農学・薬学系		(文 系)	
1	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	11.7	電子・電機	24.3	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	33.9	建設・住宅・不動産	69.7	医薬品・医療関連・化粧品	21.4	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	12.3
2	電子・電機	11.0	自動車・輸送用機器		調査・コンサルタント	11.3	官公庁・団体	12.1	素材・化学	16.3	銀行	9.5
3	自動車・輸送用機器	9.3	機械・プラントエンジニアリング	12.2	電子・電機	9.7	調査・コンサルタント	6.1	調査・コンサルタント	7.1	運輸・倉庫	5.7
4	建設・住宅・不動産	9.0	精密機器・医療用機器	6.8	通信関連		銀行		官公庁・団体		調査・コンサルタント	5.4
5	医薬品・医療関連・化粧品	7.0	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	5.4	情報・インターネットサービス	6.5	電子・電機	3.0	電子・電機	5.1	建設・住宅・不動産	5.2
6	調査・コンサルタント	6.7	運輸・倉庫		自動車・輸送用機器	4.8	エネルギー		商社（専門）		官公庁・団体	4.6
7	素材・化学	6.3	エネルギー	4.1	銀行				情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト		情報・インターネットサービス	4.1
8	機械・プラントエンジニアリング	5.0	鉄鋼・非鉄・金属製品		機械・プラントエンジニアリング	3.2			自動車・輸送用機器	4.1	保険	3.9
									精密機器・医療用機器			

2. 就職決定職種、専攻分野との関連

- 理系全体の6割以上（64.6％）が、専攻を活かした理系就職であると回答。土木・建築系と機械・電気系で特に高い（86.7％、78.4％）。
- 決定職種は、機械・電気系学生は「研究・開発系」、情報系学生は「IT系」に集中（70.3％、70.0％）。土木・建築系は「建築・土木設計系」が高いなど（65.6％）、専攻分野との結び付きが強い。化学・農学・薬学系は他の専攻分野に比べ分散している。

専攻との関連



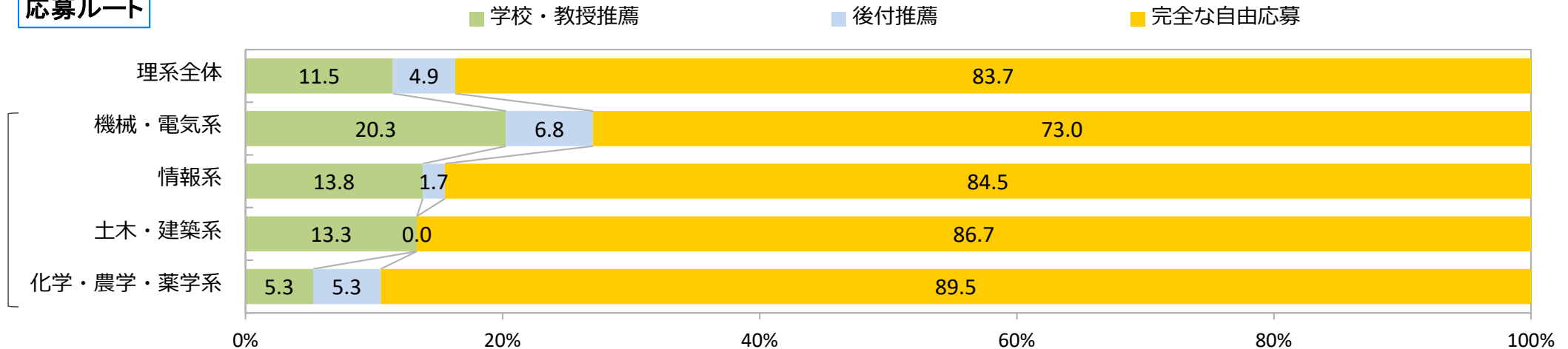
就職決定職種

										(%)
理 系		機械・電気系		情報系		土木・建築系		化学・農学・薬学系		(文 系)
1	研究・開発・設計系 40.0	研究・開発・設計系 70.3	IT系 70.0	建築・土木設計系 65.6	研究・開発・設計系 53.8	営業系 32.3				
2	IT系 24.5	生産・製造・品質管理系 15.6	研究・開発・設計系 13.3	専門・スペシャリスト系 12.5	専門・スペシャリスト系 16.3	IT系 21.9				
3	生産・製造・品質管理系 9.8	IT系 10.9	専門・スペシャリスト系 5.0	研究・開発・設計系 9.4	生産・製造・品質管理系 11.3	事務・管理系 18.6				

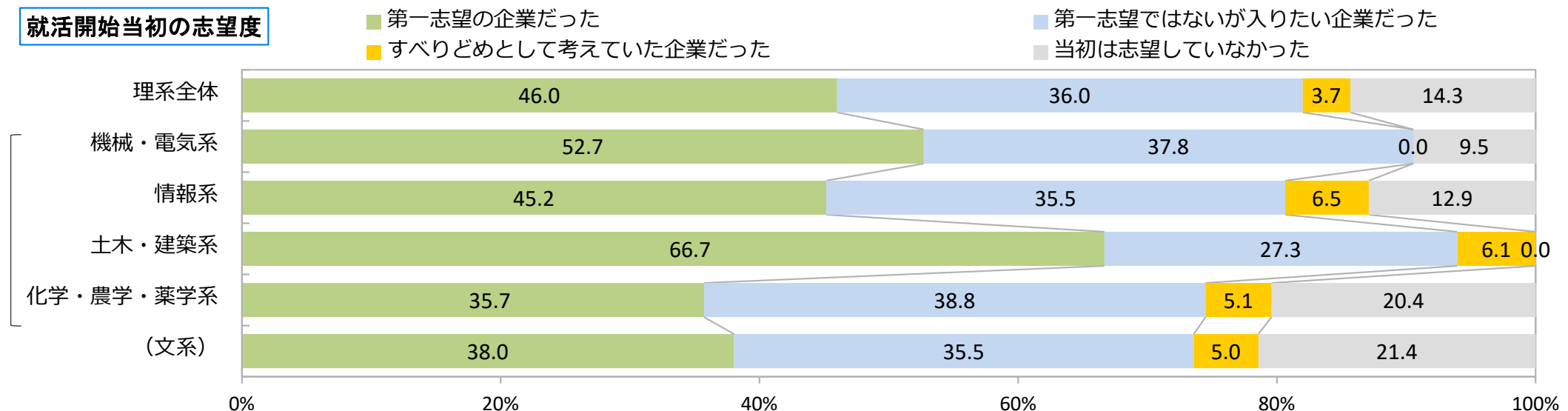
3. 就職決定企業への応募ルート、当初志望度

- 機械・電気系は「学校・教授推薦」での就職決定者が他より多く、2割を超える（20.3％）。第一志望に決定した割合も比較的高い（52.7％）。
- 化学・農学・薬学系は自由応募が約9割を占めるなど（89.5％）、専攻分野によって活動スタイルに違いが見られる。

応募ルート

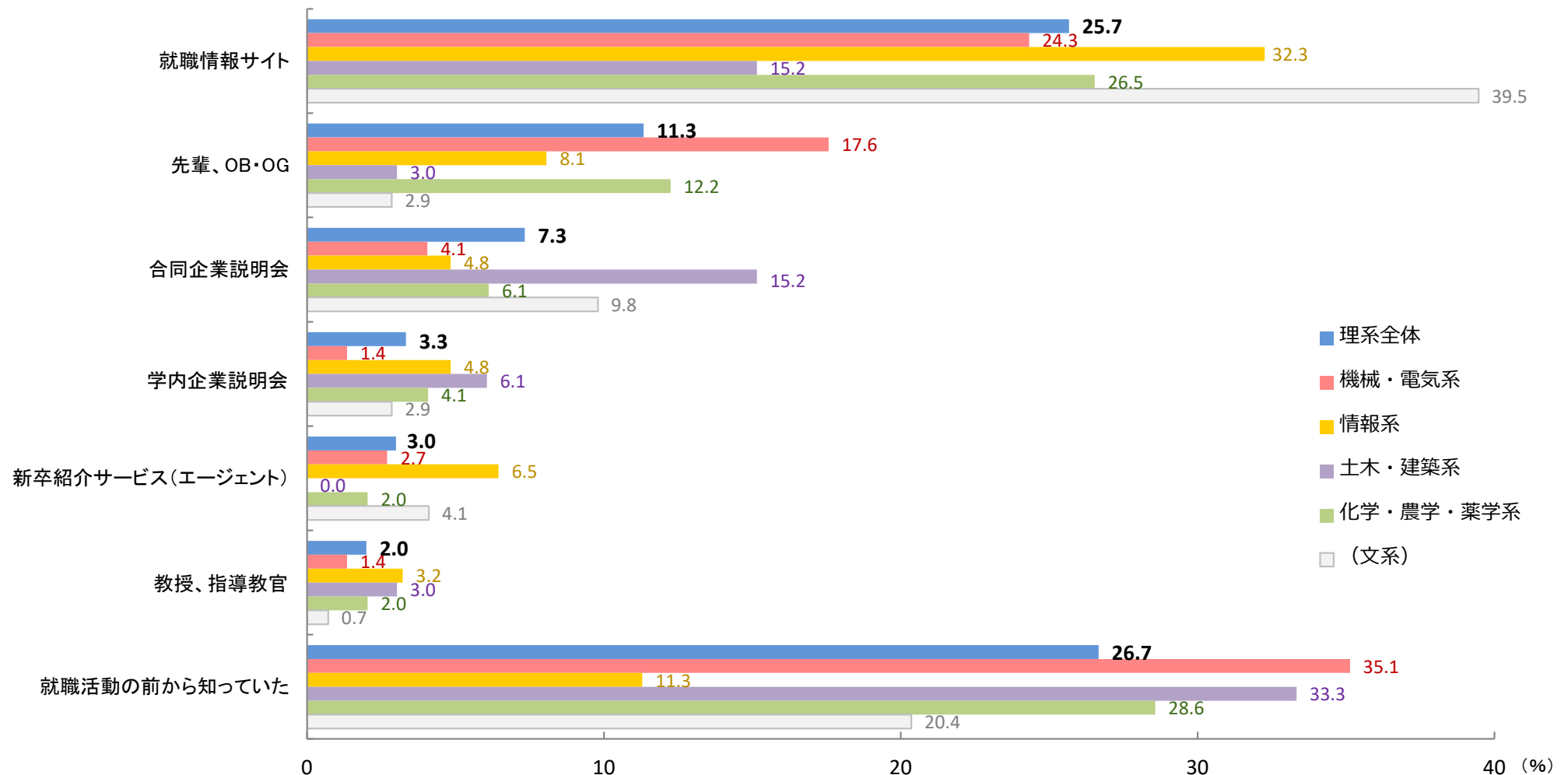


就活開始当初の志望度



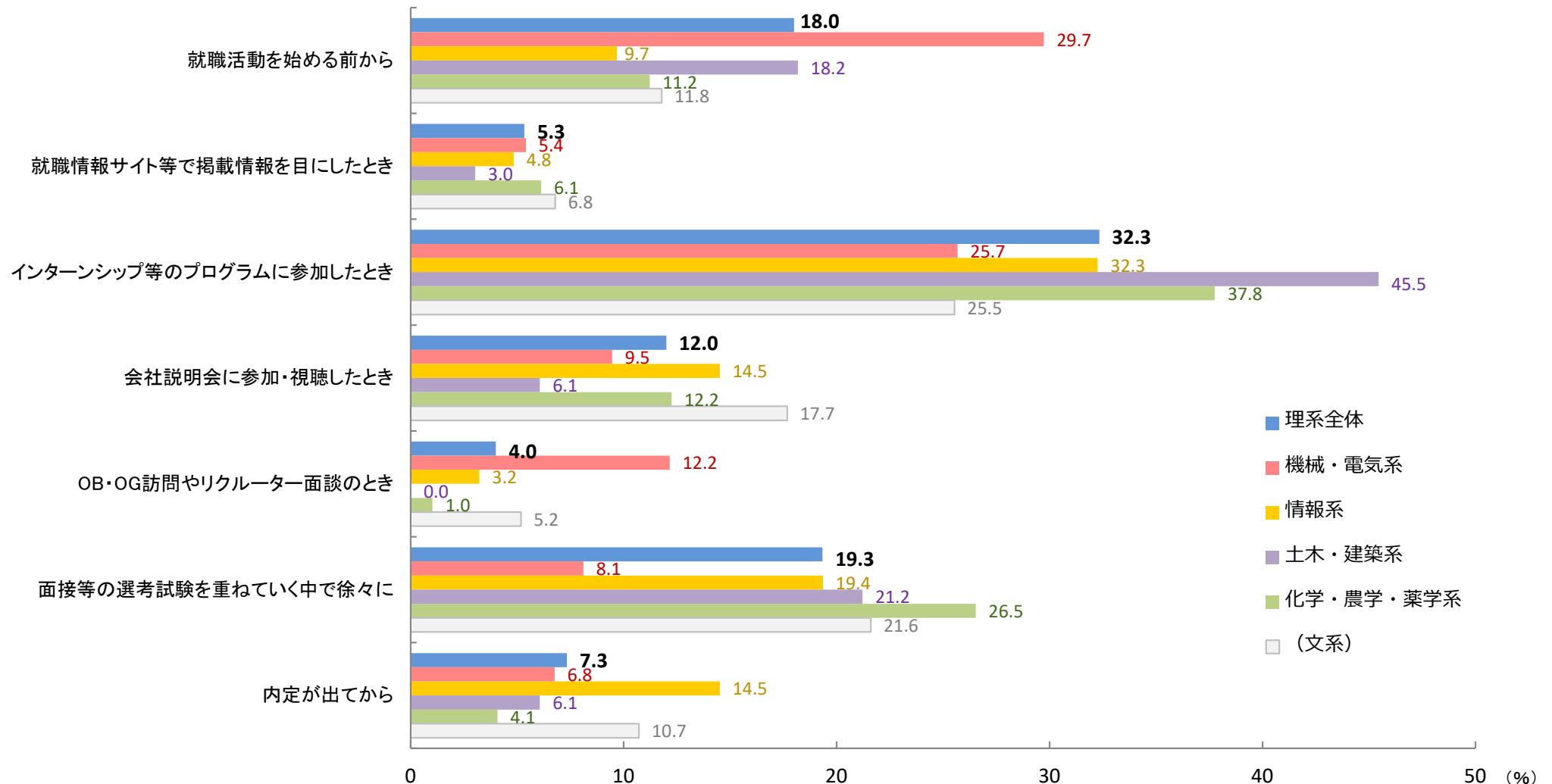
4. 就職決定企業を知ったきっかけ

- 理系全体では「就職情報サイト」と「就職活動の前から知っていた」が高い（25.7%、26.7%）。
- 機械・電気系と土木・建築系は「前から知っていた」（35.1%、33.3%）が、情報系は「就職情報サイト」（32.3%）が3割超と高い。
- 情報系は「前から知っていた」の割合が他の専攻に比べ低く（11.3%）、就職活動を通して知った企業に決める割合が高いのが特徴的。



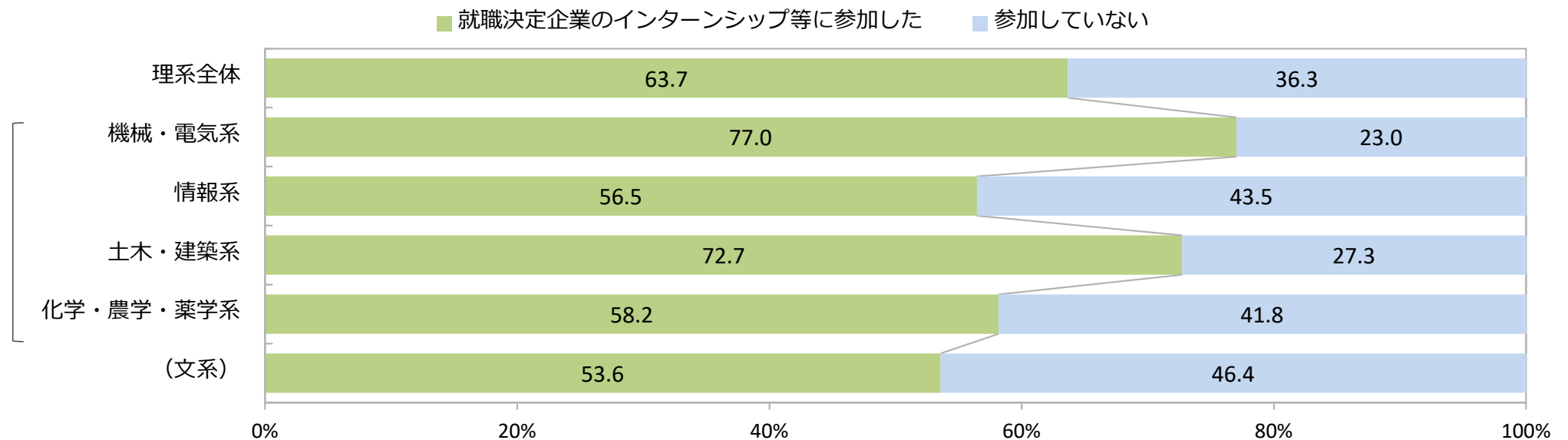
5. 就職決定企業で働きたいと思ったタイミング

- 理系全体では「インターンシップ等のプログラムに参加したとき」が最多（32.3%）。特に、土木・建築系で高い（45.5%）。
- 機械・電気系は「就職活動を始める前から」が高め（29.7%）。化学・農学・薬学系は「面接等の選考を重ねていく中で徐々に」が比較的高い。



6. 就職決定企業のインターンシップ等参加状況

- 理系学生の6割以上が、就職決定企業のインターンシップ等への参加経験を有する（63.7%）。文系（53.6%）を約10ポイント上回る。
機械・電気系と土木・建築系は7割台と経験者が多く（77.0%、72.7%）、情報系学生は比較的少ない（56.5%）。
- 理系は文系に比べ、長期プログラムに参加していた割合が高い。特に、機械・電気系、情報系で「2週間以上」の経験率が高い（19.3%、17.1%）。



就職決定企業のインターンシップ等参加日数（複数回答）

	理系					(文系)
	機械・電気系	情報系	土木・建築系	化学・農学・薬学系		
1日以内のプログラムに参加	42.4	20.0	37.5	56.1	67.0	
2～4日間のプログラムに参加	23.6	31.4	37.5	22.8	24.7	
5日間程度のプログラムに参加	29.8	45.7	20.8	19.3	14.0	
2週間以上のプログラムに参加	14.7	17.1	12.5	10.5	2.0	

※就職決定企業のインターンシップ等に参加した学生を分母に、参加者の割合を算出

7. 就職決定企業に決めた理由

- 上位10項目の顔ぶれに、専攻分野による極端な差は見られない。
- 理系学生は文系よりも「大企業である」や「有名企業である」の順位が高いのが特徴的。「希望の勤務地で働ける」も比較的高い。
- 情報系は「給与・待遇が良い」が1位、化学・農学・薬学系は「将来性がある」が1位など、専攻分野によって特徴が見られる。

※5つまで選択 (%)

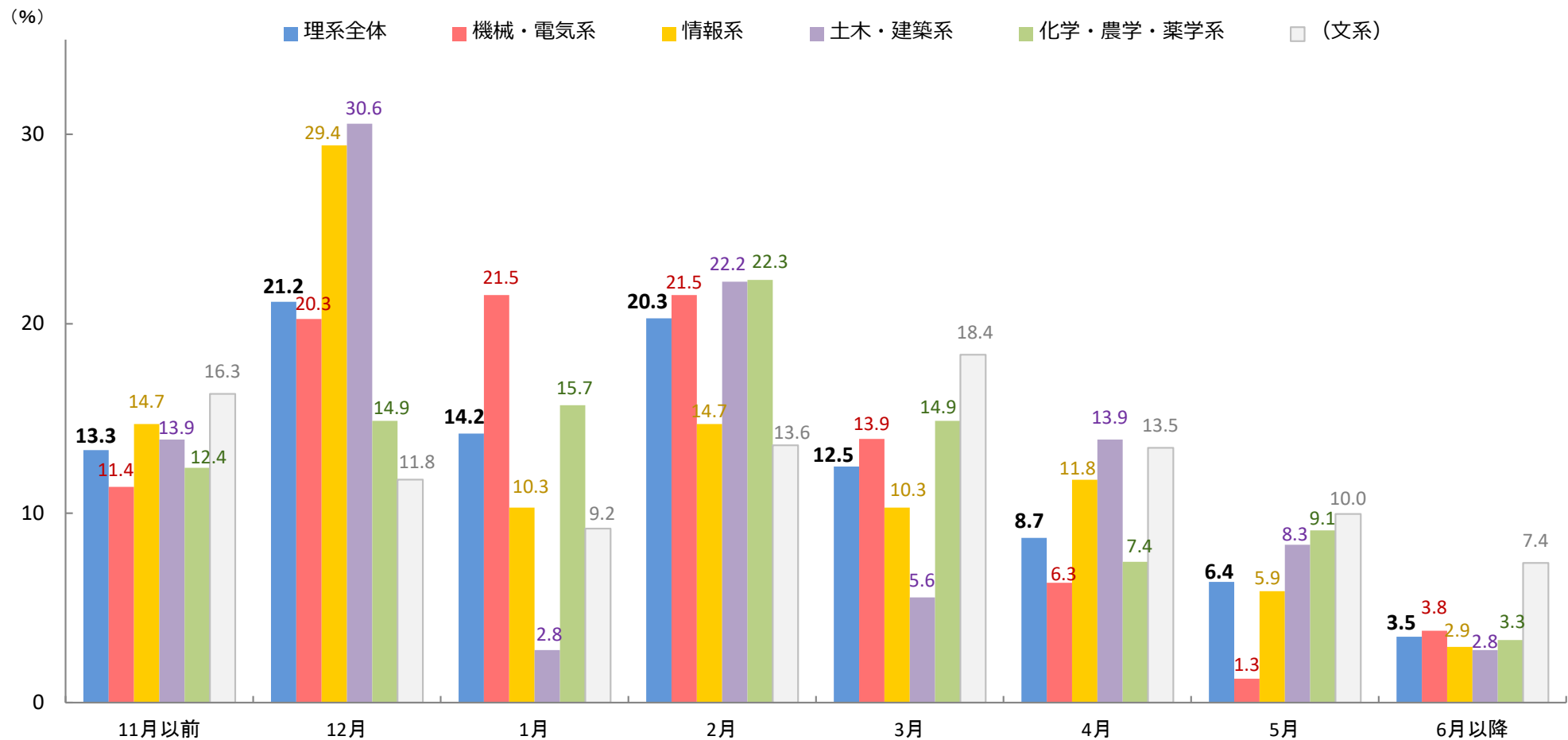
	理 系		(文 系)									
			機械・電気系		情報系		土木・建築系		化学・農学・薬学系			
1	大企業である	37.0	大企業である	48.6	給与・待遇が良い	48.4	大企業である	39.4	将来性がある	29.6	給与・待遇が良い	34.3
2	給与・待遇が良い	33.7	有名企業である	43.2	大企業である	38.7	業界内の順位が高い	36.4	給与・待遇が良い	27.6	社会貢献度が高い	32.7
3	有名企業である	30.7	給与・待遇が良い	32.4	有名企業である	29.0	将来性がある	30.3	大企業である	26.5	大企業である	31.4
4	将来性がある	26.7	希望の勤務地で働ける	29.7	希望の勤務地で働ける	25.8	有名企業である	27.3		職場の雰囲気が良い	26.5	将来性がある
5	希望の勤務地で働ける	24.3	将来性がある	25.7	職場の雰囲気が良い		25.8		社会貢献度が高い	25.5	有名企業である	25.5
6	社会貢献度が高い		業界内の順位が高い		25.7	将来性がある	22.6	給与・待遇が良い	24.2		社会貢献度が高い	25.5
7	業界内の順位が高い	23.0	社会貢献度が高い	24.3	社会貢献度が高い	19.4	福利厚生が充実している	24.5		仕事内容が魅力的	24.5	職場の雰囲気が良い
8	職場の雰囲気が良い	22.0	福利厚生が充実している	23.0	立地・オフィス環境が良い		19.4		休日・休暇が多い	21.2	希望の勤務地で働ける	23.5
9	福利厚生が充実している	20.3	職場の雰囲気が良い	18.9	業界内の順位が高い	17.7	優秀な人材が多い	21.2	福利厚生が充実している		23.5	
10	仕事内容が魅力的	15.3	仕事内容が魅力的	13.5	教育・研修制度が充実している		17.7	業績・財務状況が良い	18.2	業界内の順位が高い	20.4	休日・休暇が多い
			業績・財務状況が良い									

就職先決定にあたり、特に決め手となった点(コメント集)

	決定業界	属性
産業の基盤であり、社会を根底から支えることに誇りを持って働いている姿が大変魅力的に感じた点。	鉄鋼・非鉄・金属製品	機械・電気系／男子
多くの事業分野を展開しているため、幅広い専門知識を身に着けることができ、成長することができると感じたため。	電子・電機	機械・電気系／男子
コースごとの選考で、入社後にどのような業務を行うのかが明確なため。	自動車・輸送用機器	機械・電気系／男子
やりがいと仕事の大変さのバランスがとれていると感じた。	機械・プラント	機械・電気系／男子
様々な分野に顧客を持つため、リスクヘッジができていること。	コンサルティング	機械・電気系／男子
エンジニアは転職前提の職種なので、より自分の成長につながりやすい会社という視点で最終的に意思決定をした。	情報処理・ソフトウェア	機械・電気系／女子
転居を伴う転勤がないこと。	運輸	機械・電気系／女子
新人研修の期間が非常に長く、また携わることができるサービスが非常に多い。	インターネットサービス	機械・電気系／男子
規模感の大きい仕事ができることが見学でよくわかったため。	機械・プラント	情報系／男子
勤務地と職種を選択した上で、選考を受けることができたこと。大企業で福利厚生も良かったから。	電子・電機	情報系／女子
インターンシップを通して先輩社員と交流したことで、働く人の良さと仕事の面白さを知ることができた。	自動車・輸送用機器	情報系／女子
人事の方、社員の方と交流して、他社にはない雰囲気の良いさを感じた点。	情報処理・ソフトウェア	情報系／男子
数ある企業の中でも考えやアイデアなどが飛び抜けていて一番カッコよく感じたため。	インターネットサービス	情報系／男子
インターンシップで社員の方々とお会いしたときに、どの人も仕事に対して誠実に取り組んでいると感じた点。	建設・住宅・不動産	土木・建築系／男子
オフィスの雰囲気が自分にあっていると感じた。	鉄鋼・非鉄・金属製品	土木・建築系／男子
実際に会った社員や人事の方の対応がよく、また待遇もよかったため。	建設・住宅・不動産	土木・建築系／女子
企業の立ち位置が良く、将来性のある魅力的な企業だと感じた。離職率が低く、働きやすい環境を感じられた。	素材・化学	化学・農学・薬学系／男子
若手の発言が採用される環境、若手に対して積極的に役職やプロジェクトを与える環境である点。	医薬品	化学・農学・薬学系／女子
海外経験を積みそうなところが一番の魅力でした。	素材・化学	化学・農学・薬学系／男子
少数精鋭の研究開発部門における、裁量権の大きさ。	食品	化学・農学・薬学系／男子
研究職でありながら東京で勤務できる点。	ゴム・ガラス	化学・農学・薬学系／女子

8. 初回内定時期（内々定を含む）

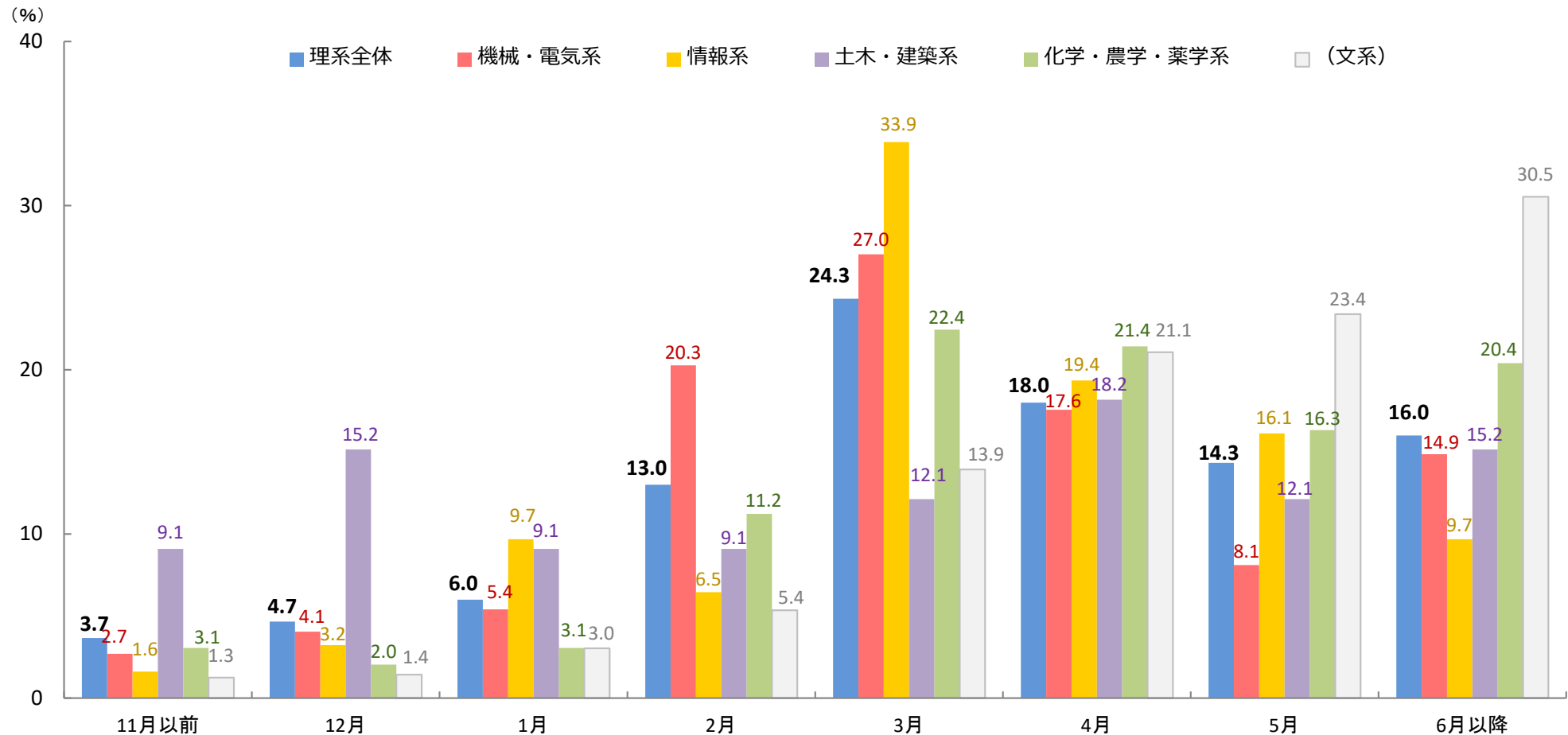
- 7月1日時点で内定を得ている学生に、初めて内定を得た時期を尋ねた。理系は文系よりも早い時期の数字が高い傾向。文系の最多は「3月」。
- 理系学生の初回内定取得が多いのは「12月」と「2月」（21.2%、20.3%）。土木・建築系と情報系は特に12月に集中している。
- 機械・電気系は12月から2月にかけて約2割が続く。化学・農学・薬学系は2月が最多で、他の専攻分野に比べ時期が分散している。



※7月1日時点の内定取得者が回答

9. 就職先を決めて就職活動を終了した時期

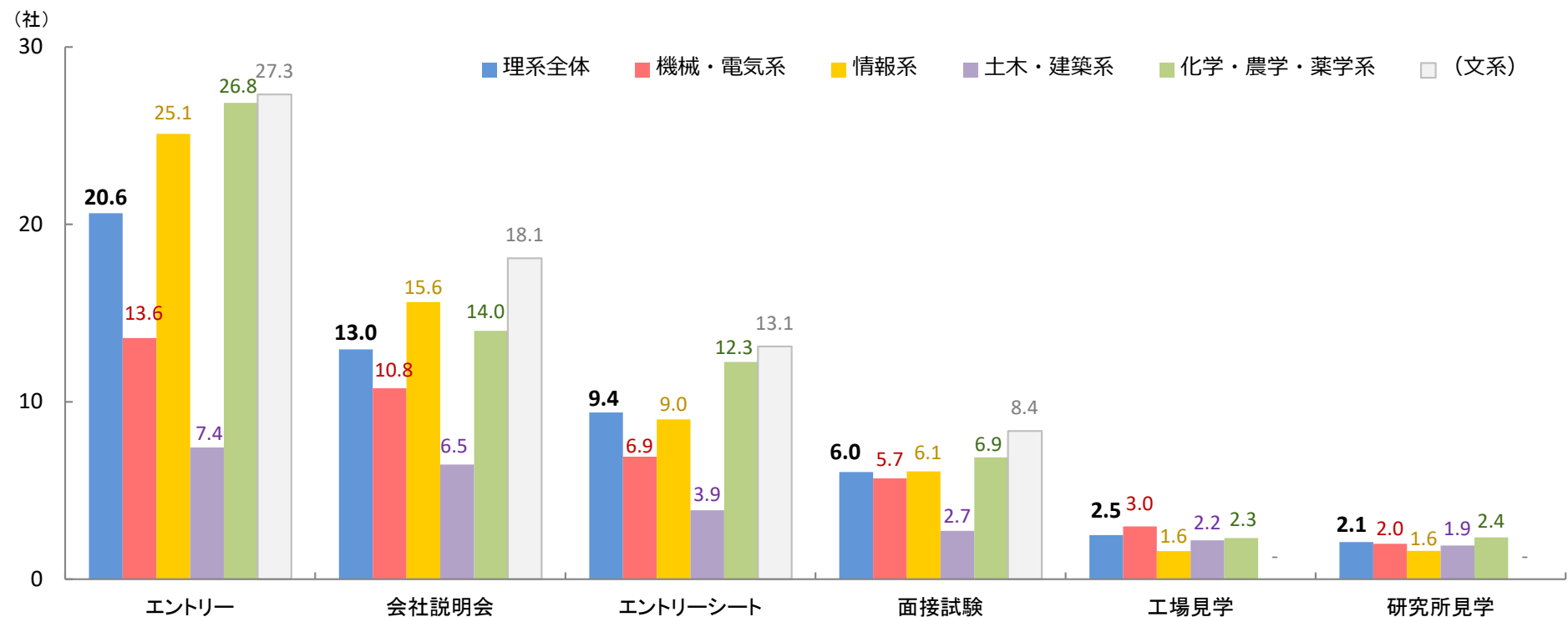
- 理系学生は「3月」が最多で（24.3%）、3月までを合計すると半数を超える（計51.7%）。文系は6月以降が最多（30.5%）。
- 土木・建築系は初回内定が集中した「12月」に最初のピークがあり、すぐに就活を終了した学生が一定数いたことがわかる。同じく12月に初回内定が多かった情報系の終了時期は「3月」に集中（33.9%）。
- 機械・電気系は2月から4月にかけて多く、初回内定時期のピークの2カ月後に相当。化学・農学・薬学系は初回内定同様やや遅い傾向が見られる。



※7月1日時点の就職先決定者が回答

【参考】就職活動量（平均社数／7月時点）

- 理系学生の活動量（社数）は、すべてのフェーズにおいて文系を下回り、企業を絞って活動する傾向が強い。
- 理系の中でも土木・建築系や機械・電気系学生は活動量が少なく、化学・農学・薬学系や情報系は比較的多い。
- 特に、エントリー社数において差が目立ち、化学・農学・薬学系や情報系は20社台と、文系学生に近い社数を示している。

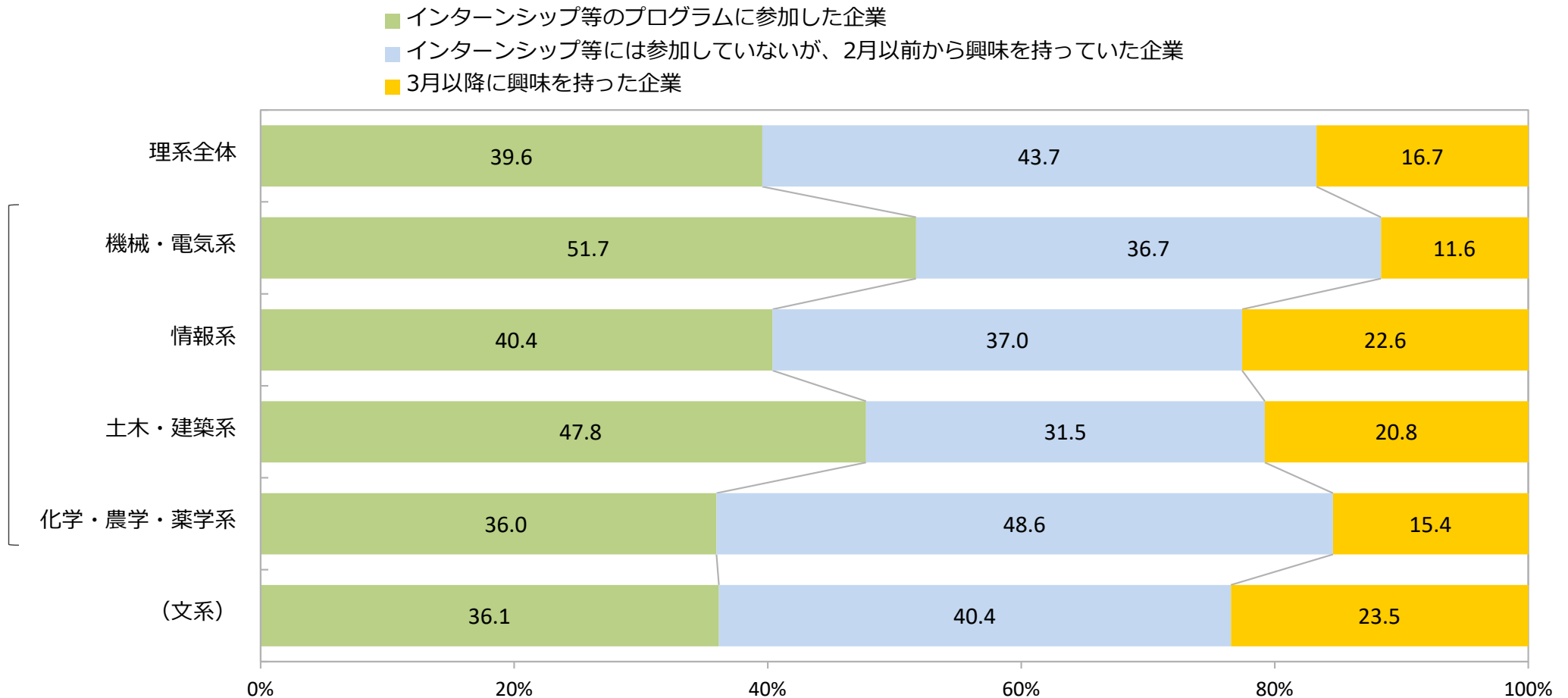


【経験率】

分野	エントリー	会社説明会	エントリーシート	面接試験	工場見学	研究所見学
理系全体	94.4%	89.2%	92.3%	92.3%	42.8%	29.1%
機械・電気系	94.4%	87.6%	92.1%	91.0%	66.3%	29.2%
情報系	93.6%	94.9%	92.3%	92.3%	16.4%	13.7%
土木・建築系	89.7%	71.8%	94.9%	94.9%	41.7%	27.8%
化学・農学・薬学系	95.6%	89.8%	92.0%	91.2%	44.3%	42.0%
(文系)	95.9%	94.2%	95.5%	94.4%	-	-

【参考】 本選考に応募した企業の内訳

- 「インターンシップ等参加企業」と「2月以前から興味を持っていた企業」の合計が8割以上を占める（計83.3%）。文系学生に比べ多い。
- 特に、機械・電気系と化学・農学・薬学系において、プレ期に出合ったり、興味を持った企業の占める割合が高い（計88.4%、計84.6%）。
- 「インターンシップ等参加企業」に絞ると、機械・電気系と土木・建築系で高いが目立つ（51.7%、47.8%）。

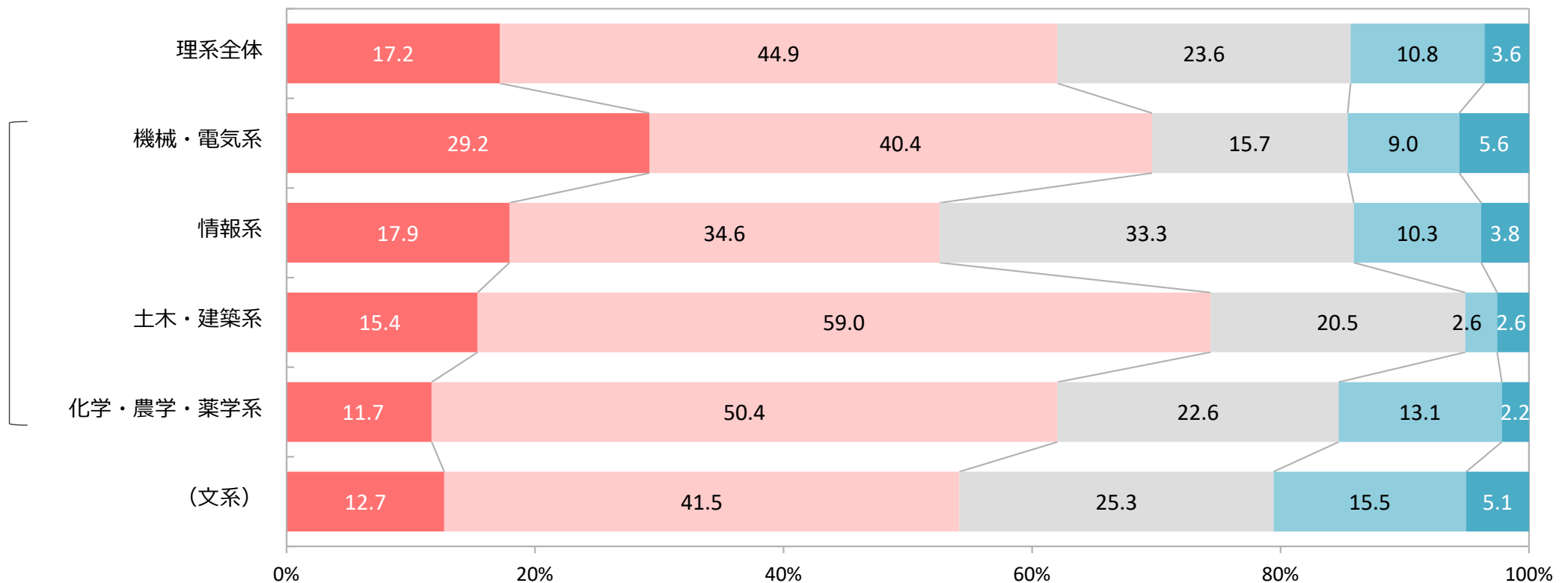


※ES提出など本選考に応募した企業の社数の内訳

【参考】就職環境への考え（売り手市場の実感）

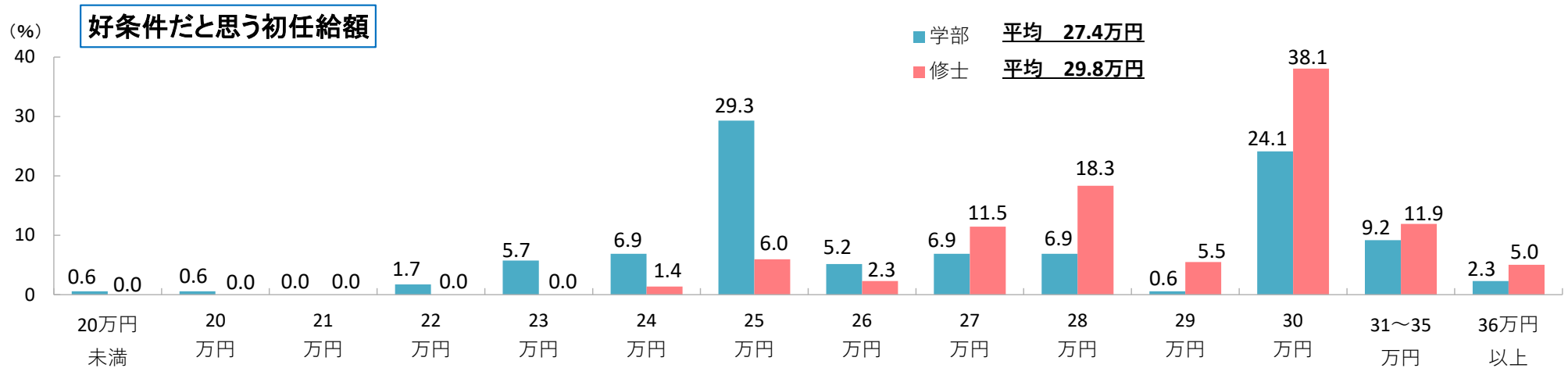
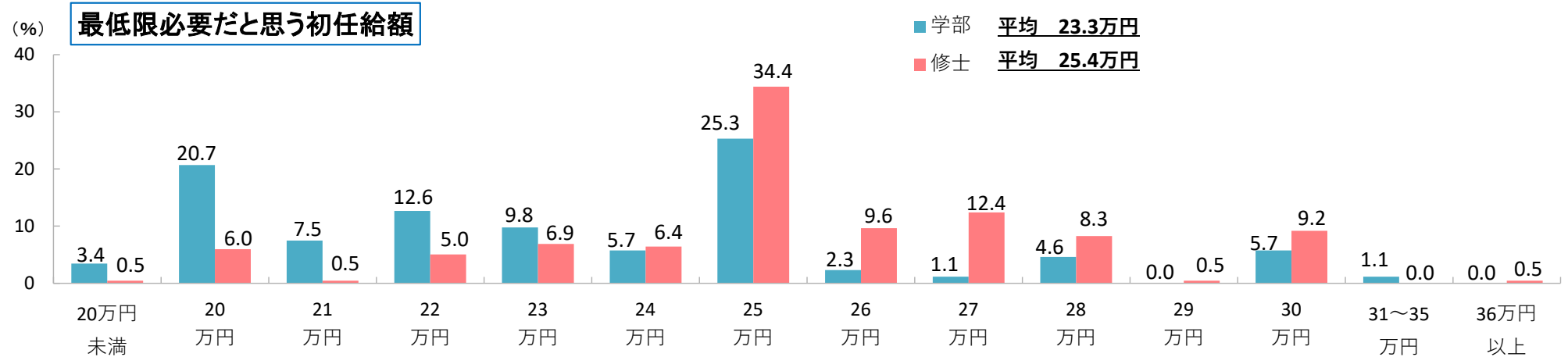
- 今年の就職環境を「売り手市場」と感じる理系学生は6割を超える（計62.1%）。
- 機械・電気系、土木・建築系の学生は「売り手市場」と回答する割合が約7割と高く、第一志望の企業に内定している学生が多いことや、学校推薦での決定者が他の専攻分野より多いことなどと相関が見られる。（5ページ）

■ 完全に売り手市場だと思う
 ■ やや売り手市場だと思う
 ■ どちらでもない
 ■ あまり売り手市場だと思わない
 ■ まったく売り手市場だと思わない



【参考】希望する初任給額(学部/修士別)

- この金額より低いと応募を見送るという「最低限必要だと思う額」は、学部生は平均23.3万円で、修士生25.4万円。約2万円の差が見られる。
- 「好条件だと思う額」の平均は学部生27.4万円で、修士生29.8万円。分布を見ると、学部生は「25万円」が最も多く、次いで「30万円」。修士生は「30万円」を選んだ学生が圧倒的に多い。



※基本給だけでなく住宅手当などの各種手当も含んだ金額として調査